

発行日：平成 28 年 8 月吉日
発行責任者：井舎英生
所在地：岸和田市春木中町 4-17
MAIL：kaikaku-c@city.kishiwada.osaka.jp

岸和田市議会 会派

改革クラブ NEWS!

1
Vol.

市民の声を届ける、井舎英生・井上博所属会派「改革クラブ」の議会だより



いしや ひでお

井舎 英生 (69) 幹事長 (1 期) 住所：春木中町

文教民生常任委員会委員・市内バス運行連絡協議会委員・岸和田市貝塚市清掃施設組合議会議員
プロフィール：解析技術コンサルタント会社役員・元春木中町会長・前春木校区連合会長

いのうえ ひろし

井上 博 (65) 副幹事長 (1 期) 住所：野田町

総務常任委員会委員・都市計画審議会委員

プロフィール：元市 環境部長・監査事務局長 前野田町会長・元東光校区連合会長



競輪場の全面建替えに120億円の予算が？



競輪場メインスタンドとバンク

昨年12月議会において唐突に競輪場の全面建替えの調査委託費として4500万円の補正予算が計上され、4会派8名（新生・岸和田創生・刷新・改革の4クラブ）が反対しましたが、3会派16名（公明党・共産党・自民クラブ）が賛成したため残念ながら可決されました。将来先細る競輪事業に、今から120億円規模の投資をすべきだろうか？補正予算の中身は、27、28年度にかけての基本設計と採算性の調査及び、民間運営事業者の決定まで行う内容です。これではこの予算を通せば、競輪場の全面建替えにGOサインを出したのも同然です。市民に詳しいことが知られずに120億円を超えています。今年6月の議会で4会派9名（新生・創生・刷新・改革クラブ）より「競輪場の再整備と周辺まちづくり」に

調査委託の契約業者選定は、プロポーザル方式（提案方式）にて行われました。公募から提案書提出メットまでの期間は、わずか2週間です。なお業者選定委員8名すべてが市職員であり、且つ半数の4名が競輪場関係者という信じられない委員構成です。選ばれた業

信じられない業者選定の実態



BMXコース

ついて慎重に議論すべきであるとの理由により、特別委員会の設置議案を提出しましたが、否決されてしまいました。「何を急いで競輪場を全面的に建替えるのか？」に対する当局の答弁では、120億円の巨費投じて行う全面建替えの目的は、「2020年のオリンピック自転車競技BMXレースの事前キャンプ地誘致が目的」であることが明らかになりました。誘致活動には1億8千万円の費用がかかり、すべて岸和田市からの一方的な持ち出しになります。一國のBMX選手団は数名程度の規模です。なお現段階では誘致が成功するかどうか分かりません。5年前に2億円投じて造ったBMXコースを取り壊して、国際基準に合うように3億円かけて新しく造り直す、そして、ついでに競輪場も全面的に建替えようとするものです。

者は、1年前に競輪場再整備事業予備検討業務を105万円で行ったN社であり、他の3社に比べれば格段に有利な状態での選定結果です。常識では考えられないこの選定結果を皆さんはどう思われますか。

競輪事業の在り方を考えるべきではないか！

120億円を超える大事業は、本市の財政状況を考え、慎重に行うべきです。当然市民にも情報公開して十分な議論を尽くすべきではないでしょうか。戦後の復興事業で始まった競輪事業に頼る市の財政運営も、今一度立ち止まって考えるべき時期が来ています。競輪場の敷地は、春木運動公園の計画区域ですが、そこに競輪場が開設されて66年の長きにわたり、周辺住民に与えた社会・生活・教育環境への影響を考えなければなりません。

私たちの提案

○当局から提案されている競輪場再整備計画を白紙に戻し、27年度当初の計画通り耐震補強して現施設の延命を図りつつ、将来競輪事業が成り立たなくなれば、競輪事業をそのものを廃止する。

議会並びに市民が共に十分に検討した結果、今後も競輪場を続ける必要があると判断するならば、

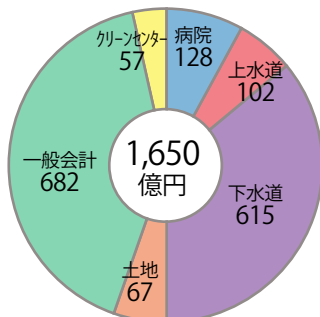
○臨海埋立地の別の場所に今後50年間競輪事業が成り立つような競争力のある日本有数のドーム型競輪場を新規に建設する。

○現競輪場の跡地は春木運動公園として市民参加で計画したスポーツ公園にする。

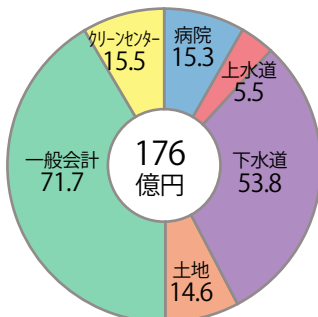
○競輪の収益は次世代の市民のために「教育のまち岸和田」・「スポーツのまち岸和田」の実現など、未来のために使う。

岸和田市の借金残高

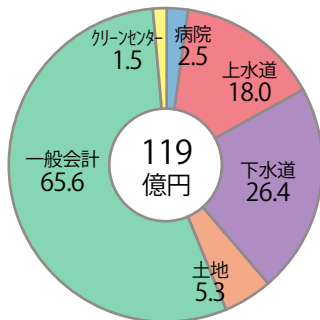
H28.3末 借入残高



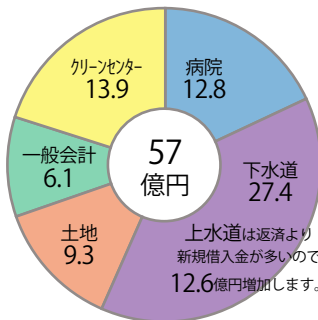
H28年度 元金返済見込額



H28年度 新規借入見込額



H28年度末 返済一新規借入
176億円-119億円 (実質見込額)



平成 28 年 3 月末現在、岸和田市の借金は 1650 億円あります。本年度 176 億円の元金を返済しますが、新たに借り入れを行う金額は 119 億円です。すなわち実質の返済額は 57 億円にな

「入るを量りて
出ざるを制す」
これが基本でしょう！



建替を予定している
岸和田市役所庁舎

岸和田市の現在の借金残高

ります。ただし支払利息が 29 億円別途支払っています。現在の借金を完済するには 29 年かかるといいうことです。国の財政よりましけれども、気の遠くなる数字です。そこへ新たに競輪場の建替えで 120 億円と市役所庁舎建替え 93 億円の借金をするという事です。国は景気浮揚の名目です。いくらでもお金を貸してくれますが、いくら国が保証人といってもまずは会社の財務や家庭の家計と同じで、

小学校給食でアレルギー 児童への給食サービスが 低下する不思議！



その原因食材を取除いた給食を提供していました。しかし文科省の『給食アレルギー対応指針』を基に、本市では『給食のアレルギー対応ガイドライン』を作成し、今年度からアレルギーの原因食材として小麦・乳・卵・エビの 4 品目を完全除去するがそれ以外の食材に関しては除去しないということになりました。これでは給食によく出る食材である大豆やゴマ・魚などにアレルギーを持つ児童はこれらの食材が出た場合には食べられないこととなります。なぜ今まで行っていた高度な給食サービスを改善する必要があるのか。市は『全市的に給食の安全を確保するために』とこのことですが、安全のためにといって給食サービスの低下は断固許せません。府内では現在個別除去している十三市が、『国の指針以上の給食サービスを現在行っている、現行のままサービスを低下させることなく行う』とのことです。

提言

岸和田市にパスポート
センターの設置を！！

(井上 博)



和泉市役所の
パスポートセンター

近隣市（和泉市・泉大津市・忠岡町）では昨年 10 月より市・町でパスポートの発行ができることになりました。岸和田市にとつてこの程度の事務は費用も掛からず簡易な事務であるにもかかわらず、「中核市移行時の平成 30 年 4 月をめどにしている」との当局の答弁です。りんくうタウンのパスポートセンターまで岸和田駅から行くとして申請と受領の往復 2 回で約 2 千円の交通費と 2 時間程の浪費が解消されることから、直ぐにパスポートの発行ができるように府から事務を移管するべきであるとの問題提議を行いました。なお、平成 23 年度に岸和田市民でパスポートの申請を行った方は、6398 人いました。（市民全体で年間 1280 万円も損しています。）

提言

市内全域に
コミュニティバス
（ローズバス）を！！

(井倉英生)



コミュニティバス

改革クラブ NEWS! 編集後記

昨年度、改革クラブの提案により、本紙のような会派発行の「議会だより」を出すことになりました。改革クラブ NEWS! は市民の皆さんに会派による質問や議員の個人的な見解を伝えるべく発行するものです。今後年二回程度は出していく予定ですが、この紙面において皆さまからのご意見をも聴取していきたいと考えています。なお、発行費（一部 5 円）は全て政務活動費から支出しています。

買い物、通学、通院等に誰もが利用しやすいバスの移動手段があれば、まちは賑わい活気ある市になります。しかし今の岸和田にはバスの路線があまりにも少ない。自由に移動できるための地域公共交通すなわちローズバスのようなコミュニティバスのさらなる運行が求められています。